

# つなまち



新年明けましておめでとうございます

12月定例会：12/14～16

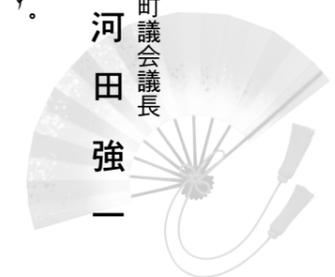
議長新年のあいさつ	②
条例制定・人事	③
一般質問	④～⑩
傍聴者の声	⑩
平成24年度建築要望事項	⑪～⑬
シリーズ私もひと言	⑭

平成23年 第4回定例会が12月14日から16日までの会期で開催されました。  
13名の一般質問に始まり、人事案件、条例制定、平成23年度補正予算を審議し以下の通り決しました。



## 新年の挨拶

津南町議会議長  
河田 強一



新年明けましておめでとーうございませう。昨年を振り返ると非常に災害の多い年でありました。1月の大雪、そして3月11日に起こりました東日本大震災で津波による大災害が発生いたしました。また、その震災による福島第1原子力発電所の事故による放射能漏れにより我が町にも風評被害が及びました。翌日3月12日未明に起きました「新潟・長野県境地震」で町内全域にわたり家屋、農地、道水路等に大きな被害を受けました。被災以来懸命な復旧作業を行っておりますが、一日も早い復興が望まれます。

また、7月の豪雨でも大きな被害を受けました。一方、永年の懸案でありました大倉パイパスの完成には、多くの町民の方々から参加していただき、渡り初めが行われたことは明るい話題の一つでもあります。

議会においては、10月に町議会議員選挙が行われ、4名の新人議員が誕生しました。議会に新風を吹き込んでくれるものと、期待をしております。また、町民の皆様から「議会の顔が見えない」、「活動が見えない」等多くの厳しい意見もいただきました。私達は、このことを踏まえ、議会の改革、より開かれた議会へと、議論をして参る所存であります。

津南町がより発展し、住みやすい町を目指して、議員一丸となって取り組んで参ります。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 条例の制定

津南町暴力団排除条例の制定について  
(全員賛成により可決)

**要旨** 暴力団又は、暴力団員等による不当な行為を防止し、これにより町内の事業活動又は、町民活動に生じた不当な影響を排除すること。

## 人事

◆人権擁護委員に次の2名を全員で推薦しました



山田 隆一氏  
駒澤大学仏教学部卒  
平成15年4月より  
人権擁護委員



本山 佐利氏  
明治大学商学部卒  
平成23年3月  
津南町役場退職  
平成23年5月  
津南町観光協会勤務  
現在に至る

◆監査委員の選任 (賛成多数で同意)

吉野 徹氏  
平成21年6月〜平成23年11月  
前 津南町議会議長  
現在 津南町議会議員

◆津南町教育委員会委員任命 (賛成多数で同意)



宮沢 清氏  
平成21年7月〜  
平成22年3月  
町づくり検討委員

◆津南町固定資産評価審査委員会委員選任 (賛成多数で再度選任に同意)



中島 宏和氏  
平成11年12月21日  
より町固定資産  
評価委員

◆津南町選挙管理委員会委員及び補充員の選任について

次の8名が指名推選され、当選いたしました。  
選挙管理委員

- 浦井 政宏氏
- 半戸 敬二氏
- 石橋 義一氏
- 丸山 政友氏
- 高橋紀久郎氏
- 同補充員
- 駒形 和貴氏
- 大口 博正氏
- 津端 厚子氏

## 新しい議会構成

第4回臨時議会(11月16日開催)において次の通りに決しました。

議長 河田 強一  
副議長 伊林 康男

議席の指定							
15番	13番	11番	9番	7番	5番	3番	1番
伊林 康男 (3期)	草津 進 (5期)	藤ノ木浩子 (4期)	津端 眞一 (3期)	中山 弘 (2期)	柴原 洋子 (2期)	桑原 悠 (1期)	石田タマエ (1期)
16番	14番	12番	10番	8番	6番	4番	2番
河田 強一 (4期)	吉野 徹 (5期)	大平 謙一 (4期)	根津 勝幸 (3期)	滝澤 茂光 (2期)	恩田 稔 (2期)	風巻 光明 (1期)	村山 道明 (1期)

(議員任期：平成23年11月10日～平成27年11月9日)

## 常任委員等の選任

総文福祉常任委員会

- 委員長 草津 進
- 副委員長 根津 勝幸
- 委員 石田タマエ
- 委員 中山 弘
- 委員 風巻 光明
- 委員 藤ノ木浩子
- 委員 伊林 康男

産業建設常任委員会

- 委員長 大平 謙一
- 副委員長 津端 眞一
- 委員 村山 道明
- 委員 桑原 悠
- 委員 柴原 洋子
- 委員 恩田 稔
- 委員 滝澤 茂光
- 委員 吉野 徹

議会運営委員会

- 委員長 根津 勝幸
- 副委員長 藤ノ木浩子
- 委員 桑原 悠
- 委員 津端 眞一
- 委員 大平 謙一
- 委員 草津 進

津南地域衛生施設組合議会議員

- 議員 恩田 稔

十日町地域広域事務組合議会議員

- 議員 村山 道明
- 議員 中山 弘

新潟県後期高齢者医療広域連合議会議員

- 議員 藤ノ木浩子

国、県の支出金増などで、2億7,593万5千円を追加し総額81億5,955万8千円となりました。

## 一般会計補正予算

### 主な補正の内容

- ◎総務費：東日本大震災復興事業基金積立金被災集落等復興見舞金
- ◎民生費：障がい者福祉関係扶助費増外丸保育園通路除雪費
- ◎衛生費：クアハウス消雪井戸復旧工事
- ◎農林水産業費：きのこ王国支援事業関係増
- ◎土木費：冬期集落安全安心確保対策事業
- ◎教育費：文化財保護費増
- ◎災害復旧費：小、中学校復旧工事費増

### 23年度特別会計補正予算

国民健康保険会計	簡易水道会計
補正額 2,607万1千円	補正額 8万2千円
総額 11億8,899万9千円	総額 2億4,175万8千円
後期高齢者医療会計	水道事業会計
補正額 75万4千円	補正額 20万8千円
総額 1億1,928万2千円	総額 4億1,216万7千円
介護保険会計	農業集落排水事業会計
補正額 935万8千円	補正額 7,620万4千円
総額 13億2,740万5千円	総額 5億2,434万1千円

歳入	地方交付税	△4,014万4千円
	分担金及び負担金	90万8千円
	国庫支出金	927万6千円
	県支出金	16,750万4千円
	財産収入	43万7千円
	繰入金	511万1千円
	繰越金	2,281万6千円
	諸収入	370万8千円
町債	10,631万9千円	

歳出	議会費	△150万3千円
	総務費	18,335万2千円
	民生費	△661万1千円
	衛生費	△939万8千円
	農林水産業費	3,413万1千円
	商工費	1,543万1千円
	土木費	3,423万1千円
	消防費	689万9千円
教育費	169万9千円	
災害復旧費	1,770万4千円	

# 町民所得の向上をどのように構築するか

町長..畑作の位置づけが極めて大きい

草津 進 議員

## 24年度予算編成の 目玉、主要事業は

**問** 震災により地域経済は極めて厳しい状況であり、税収増が望めない中で対応は。

**町長** 長野県北部地震の復旧復興に、新年度も優先的に取組まなければならぬ。一方で、新規事業や既存事業の自然増については、国の動向や経済情勢からみて、財源的には限られているので、費用対効果を厳しく査定し、将来予測を的確に行っていく。

## 高齢化が進むなか選挙の 投票所の検討を

**問** 30箇所が16箇所となった理由と現状についての考えは。

**町長** 投票所については、津南町選挙管理委員会で決定している。道路改良整備により利便性が高まってきた。また、期日前投票等見直しにより、投票機会の拡大が図られてきた。今後とも多くの有権者が投票できるよう検討していく。



にぎわう「郡民の日」(韓国驪州郡)

## 「津南町民の日」 制定について

**問** 10月8日と10月11日、3泊4日での国際友好交流都市、驪州郡の陶磁器まつり、ハンゲルの日、郡民の日・記念式パレードに、町長と一緒に参加させて頂いた。そこで、津南町においても「津南町民の日」を設けてはどうか。

**町長** 先人の努力に感謝し、明日の町づくりを共に考え、「町民の日」を制定し一体感を育むことは意義深いと考えている。全国的には減っているなか、あらためて今後に向けて実施の効果、方法も含めて議会との議論、課題としていいのではないかと。

# TPPと日本農業の行方について

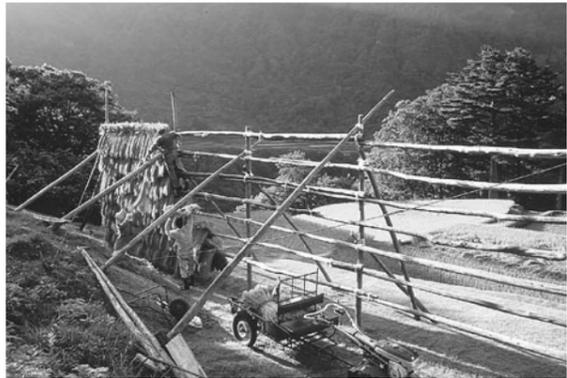
町長..国民生活の将来に悪影響

伊林 康男 議員

## 基本計画との整合性について

**問** TPPへの参加と2011年3月に決定した食糧・農業・農村基本計画とは相容れないものと考えられるが見解を伺う。

**町長** 新たな食糧・農業・農村基本計画では、カロリーベースの自給率を40%から50%へ引き上げ、総合的食料安全保障の確立等がうたわれており、戸



守れるか、のどかな風景

別補償や農業の六次産業の推進による国内農業の強化となっている。TPP参加で関税が撤廃された場合、農林省の試算では、農産物の減少額が4兆1千億円、食料自給率が14%に下がる。基本計画とTPPでの関税撤廃論議とがまったく整合性のとれない内容となっている。

## 農業は「風土産」で 自由貿易の対象外

**問** 農業は当該地域の自然環境と社会的歴史風土を基盤としていと言われているが。

**町長** 国土保全における農業の多面的機能は数兆円と言われている。関税撤廃による農地の荒廃等による影響は計り知れない。

**問** TPP参加でわが国農業の行方は、  
**町長** 関税撤廃で崩壊のおそれあり。誇れる農産物増産と世界中での位置づけが肝要。

# 町の人口減少を食い止めたい

町長..精一杯、子供への投資を行う

大平 謙一 議員

## 一年に1000人の子供が 誕生する町へ

**問** 町の最重要課題は人口減少をいかに食い止めるか。

若者の働く場の確保が重要と考えるが、町は企業誘致をどのように行っているか。

**町長** 県の工業団地も今はソーラー発電の場となっている。日本のシリコンバレーを目指したシャープの亀山工場も今は売りに出されている。オプシード津南の件もあり企業誘致は難しいと考えている。

しかし津南にとって優良企業誘致であれば町は直接支援も考えている。

**問** 町の子育て支援策は。津南町に住んだら子育ては安心といわれる対策はないか。

**町長** 近年の出産数は60人前後であり死亡数、社会的動態はマイナスにリンクしている。年150人の減少が続くと思われ危機感を持っている。津南町が人口を増やすことは難しいが、「津南町に住んで津南町で子供を産んだら子育てに関しては絶対間違いのない」と評価を頂ける町にするため、努力してゆく。



子供は津南の宝です

## 離農者が年々増加している。 振興策を示せ

**問** 農業者の高齢化にどう対応するか。私は集落に集団営農が必要と思う。町はどう支援するのか伺う。

**地域振興課長** 組織づくりは重要と考えている。町としては全力で取り組みたいと考え支援してゆく。地域で良く話し合い、町に相談してほしい。

# 管理職に女性登用はないのか

町長..能力において役職に登用する

根津 勝幸 議員

## 役場人事に女性管理職が いないのはなぜか

**問** 雇用機会均等法が施行されて本年度25年目と言われる。民間企業では業績向上のために女性登用が多く見られるが、当町役場では女性の管理職の起用はないのか。

**町長** 民間では管理職に女性登用は一般的に行われている。

男女の区別を問わず能力を適正に評価することは人事の基本と考える。就任から驚いたことは、過去において女性職員の採用が細かったことである。本年の人事に女性班長も図ったところである。女性の登用範囲をどのくらいにしなければならぬという考えはない。

町行政を盛り上げていくためにも男女適材適所で起用していきたい。

## 公共交通体系の見直しを

**問** スクールバスの混乗化などに伴い、中学校の下课時の各方面へのバス時間がまちまちで、路線バスに合わせて学校事業の時間を進めなければならぬというが、見直しを図れないか。



17時台は一斉下校できるのだが...

# 将来に向けた学校と教育について

町長・強くて優しい人づくりの教育に取り組む

風巻 光明 議員

**問** 津南町においても少子化が進む中、小学校の児童が激減し平成15年比200人減で現在489人、今後も更に減少する。湯沢町では「統合文教施設」として1か所集中で2014年に開校予定だが、津南町はどう進めて行くのか。

**町長** 津南町小中学校適正規模検討委員会で提出された答申書を尊重する。答申書の見直しは考えていないが、引き続きローリングコントロールを行い地域の人に理解を深めていただくよう努力する。



雪の中登校する小学生

**問** 現在学校の空き校舎は2カ所、校長、教頭住宅を含めた空いている教員宿舎は9軒となっているが、今後も増えるかと予測される。その有効活用について伺う。

**町長** 平成22年10月に教育委員会を含めた庁舎内の関係課と「空き校舎、保育園再利用検討会」を立ち上げ協議した。教員宿舎は普通財産にし、公営住宅として活用する予定。又空き校舎については再度検討委員会を立ち上げ早い時期に具体化したい。

**問** いじめや不登校の現状と低年齢層の自殺や非行が増加している中で、今後道徳教育の強化充実の必要性があるが、

**町長** 当町学校基本調査の結果、いじめや不登校は若干名いた。教育委員会が中心となり、現状分析し課題をまとめた。また「津南町教育懇談会」も立ち上げたところである。強くて優しい人づくりの教育に取り組んで行く。

**問** 津南中学校を卒業の生徒は全て町外での修学をせざるを得ないが、送迎を含め家庭では大きな負担となっている。その通学支援の考えは。

**町長** 地域公共交通を整備しているが、更に支援体制を検討する。

# 改正介護保険法がもたらす影響は

町長・サービス低下はないと考えている

藤ノ木 浩子 議員

## 利用者・家族に重大な影響を与えるもの

**問** 市町村の判断で新たに介護予防・生活支援総合事業を創設できることとなった。サービス提供は、内容も料金設定もすべて市町村まかせで、担い手もボランティアなど、多様なマンパワーを活用するとされている。これはサービス水準の低下につながりかねない事業と思われるが、どうお考えか。

**町長** 総合事業が実施されると2次予防対象者は従来の介護予防に加え、市町村が定める配食、見守り等のサービスを受けることが可能となり、要支援1、2の対象者は従来の予防給付サービスか、総合事業サービスを受けるかを地域包括支援センターによるアセスメントで決定する。地域の実情やサービスの適用はどうか、利用者負担の有無、事業者指定など検討した中で実施を考えたい。介護予防等のサービスが総合的に提供されるので、サービス低下はないと考えている。

**問** 65歳以上の介護保険引き下げのため、国の保険料抑制の考え方に基づく、町の次期保険料はどうなるか。



ニーズが高まる介護施設

**町長** 県における財政安定化基金は活用されており取り崩せない。サービスは充実と高齢化を見込むと保険料上昇は避けられない。町の基金等活用し、急激な負担増は避けたいと考えている。

**問** 年金で入れる特養ホームを。

**町長** 年金で施設利用が賄える視点は、利用する側にとっては基本的な考え方であり、そのような制度構築が基本と考える。特養は基礎年金で賄えるが、ケースによっては相談を。

# 竜ヶ窪の名水活用の問題点を問う

町長・取水量は僅かであり、岡・谷内集落の判断を尊重する

滝澤 茂光 議員

**問** 削井方式は水脈の変動、直接取水には湧水期の灌漑用水に支障をきたすこととなる、冒頭申し上げておくが、水は決して余っている訳ではないことを肝に銘じておいていただきたい。命の水として昭和33年に岡、谷内、赤沢3集落の水道水として、又稲作の灌漑用水として活用され続けているが、寒中の湧水期、水田の田かき時には水管に苦勞している実態があり、取水により湧水等、環境に影響があつてはならないし、慎重に対応すべきである。

**町長** 毎分30トンの水量のうち1日につき45秒間の取水量であり、水環境に絶対影響がないとは言えないが、極めて影響は少ないものと考えている。大手のコンビニエンスストアの8千店で津南の水が一番おいしい水として全国で販売していただくことにより、津南町の宣伝効果も期待されるし、津南農産物の販売にとつても大きな力となる。しかし、取水が全く環境に影響がないとも考えていない。岡・谷内の集落の皆様は判断をお願いしているところである。

**問** 企業であれば当然コストを抑えるのであろうが、1,200万本の販売



地域の貴重な命の水源

# 医療スタッフの待遇改善について

町長・積極的な募集活動を行う

栗原 洋子 議員

## 地域の医療担う津南病院看護職員に過重な負担

**問** 恒常的な看護師不足が続く中、スタッフの高齢化が深刻、診療体制まで危うくなる現状にどう対応するのか伺う。

**町長** 将来的に職員の高齢化や看護師不足が課題となる。看護職員については、口コミやメディア等の活用による積極的な募集活動等を行う中で引き続き職員確保に取り組んでいく。来年度、民間機関とも調整し、町独自の奨学制度を実施し来春の高卒者が使えるよう周知したい。

**問** パート、臨時職員が医療の現場を支えている。労働条件、賃金など待遇改善が緊急の課題と思うがいかがか。

**町長** 病院は全職種の総合力で運営されている。パート、臨時職も非常に重要な役割を担っている。昨年、賃金等引き上げたが今後も待遇改善に取り組みたい。

**病院事務長** 現在、看護助手、臨時、パート職員に来ていただき、何とかやりくりしているが、募集しても集まらない状況。若い人は都市部の急性期病院で勉強したいという思いがある。引



医療体制の充実を願う

き続き条件整備を行い魅力ある病院にしたい。採用に関しては待遇改善を図っていききたい。

## 住宅改修補助事業の充実と継続を

**問** 平成23年度は被災住宅改修事業により住民にも大変喜ばれた。地域経済循環を生み出し有効な施策だ。さらに充実、継続していただきたい。

**町長** 元の10万円に戻し継続を検討、慎重な対応が必要。

**建設課長** 補助金に対し総事業費は10倍強である。県も考えていただくと思う。

# 医療と介護の連携強化を

## 町長・安心できる住民生活を最優先

石田 タマエ 議員

### 住民に密着した 医療機関を目指して

**問** 津南町が今後地域包括ケアシステムを構築するにあたり、地域医療を担う町立津南病院の今後の在り方について伺う。

**町長** 近隣の県立十日町病院、魚沼基幹病院と連携をしながら、町民の身近なところで総合的に見立てられるかかりつけ医としての役割と、今後は終末期医療も視野に入れて、安心して診療を受けることができる病院を目指していく。

また、優先度の低い診療科の設置継続については検討する。医薬分業につ



介護保険の充実を

いては、住民へのサービス維持の観点からも今後病院審議会で検討をしていく。地域包括ケアシステムについては今年3月に65歳以上の高齢者を対象に「ニーズ調査」を実施し現在分析中であり、第五期介護保険計画に盛り込む作業を進めている。

### 第五期介護保険計画の 概要について

**問** 平成24年度からの第五期介護保険計画を「施設整備」「在宅支援」「介護予防」の視点から概要を伺う。

**町長** 平成24年度からの第五期介護保険計画については、国の指針が示されたのがつい最近であり、現在原案を作成中である。基本的には国の指針の下に、県が示した留意点に沿って、各サービスが切れ目なく提供できる「地域包括ケアシステム」の構築を目指して第五期介護保険計画を作成する。

また、在宅介護を継続するための短期入所施設の在り方や、介護予防の在り方について、第五期介護保険計画の中に示し、将来的に、安定した介護・福祉を提供するために、慎重に取り組んでいく。

# 財政権の自立をめざす意志を問う

## 町長・所得向上の実現で独自財源比率を拡大

桑原 悠 議員

### 町財政を強くする 努力をするべき

**問** 独自財源と国による財政調整の比率。先行き不透明な地方交付税に頼るのか、課税や人口増加策や企業誘致により独自財源を増やすのか。

**町長** 地方交付税に頼らない町政は無理。課税の負担によって町の税財源を潤す考え方は難しい。むしろ、産業の振興、地域の生産性向上によって所得を高めていきたい。

**問** 将来世代への投資を増やしていく考えはないか。

**町長** 高齢化に伴う社会保障サービスが町の基幹だが、良いと思ったことには積極的に投資できるような財源形態をもちたい。

**問** ふるさと納税のPR、環境改善。特に使途の明確化、クレジットカードによる納付方法の導入を提案するがいかがか。

**町長** ふるさと納税は有り難いことに、昨年から増え、17名から計182万2千円いただいた。様々な会合の場でPRしており、又、現在のやり方は非常にやりにくいのでプログラム改善を



冬には消雪に使われている水資源

### 水に関する条例づくりの ためにWGを

**問** 将来、水を争う時代になると思われ、水を管理・利用・保護する条例が必要。そのため作業部会(WG)（ワーキンググループ）設置を提案したいがいかがか。

**町長** WGの性格づけが勉強会のようなものであれば設置させていたいただきたい。津南は名水の宝庫だが、制限することの検討も必要。湧水には水利権者がおり、地下水も問題点が多いので、それぞれ十分な検討、協議が必要。

# 24年度の予算編成について

## 町長・健全財政の堅持に努める

恩田 稔 議員

### 予算の組み替え等については

**問** 特別会計への繰出金が増えているが適切であるか。

**町長** 国の繰出基準を上回っているのは、病院事業会計と国民健康保険会計の二つである。改めるところは改め、今後も適切な支援をする。

**問** 負担金、補助金、繰出金、人件費で一般会計の半分以上を占めている。財源確保のには見直しの必要はないか。

**町長** 空き校舎などの活用を検討委員会が進めているが、まだ、結論は出ていない。提案等を検討し、早期に活用を図りたい。

### 観光と交流の拡大について

**問** 飯山線SL運行について、津南、飯山までの延長に進展はあったのか。

**町長** 飯山線沿線地域活性化協議会で長野駅までの運行が可能となるよう、給水施設や炭ガラク置き場等の施設整備を行うよう、JR東日本に要望することにした。

**問** 旧三箇小学校校舎を、廃校活用モデルとして、都会の学校や行政、教育委員会などにPRすることを提案したいが、町として積極的に進める考えはないか。

### 雇用拡大と企業誘致について

**問** コールセンターの誘致は他の自治体も積極的に行っている。通信のインフラ整備がされた津南は、従来の工場誘致とは異なり、条件不利地ではない。

**町長** 津南町は適地と考えている。雇用対象の若い女性が少ないこと、24時間勤務体制が受け入れられるか、課題もあるが、通信関係の企業誘致には今後も積極的に取り組みたい。

# 安心・安全な町づくりのため

## 町長・災害危機管理や弱者支援は機敏に対応したい

村山 道明 議員

### 義援金配分と 寒波雪害対策助成は

**問** 義援金の最終配分の方角性と方針は。

**町長** 現在義援金総額は、5,902万円以内訳として日赤3,102万円、県民募金、312万円、町へ2,487万円、これまで配分した金額は、3,711万円。残高の2,191万円は今後集落の公民館やコミュニティ施設の復旧の支援としたい。

**問** 寒波による雪害状況時における弱者世帯・孤立集落支援は。

**町長** 冬期保安委員は今期、新規に大谷内集落含め7集落である。大谷内に除雪機を配置して、安心の確保をする。

**福祉保健課長** 弱者世帯除雪支援助成を昨年同様、大雪には3回分の回数を増して6回にしていきたい。

**問** 大倉スノーシエッド区間の払下げ後の利活用は。

**町長** 補修完了後、町へ管理が移動する。まず町道で管理するが、利活用方法を検討し、廃止については関係者と協議したい。



トンネルをどう生かすか

**問** 津南病院小児科医師の常勤確保に全力を。

**町長** 慈恵医科大学の医局・研究室へ更に訪問し、派遣を強くお願いしていく。

# 東日本大震災の影響と景勝・古民家の保存と

町長・町の復旧復興を最優先。保存は財政の許す範囲内で検討する

中山 弘 議員

## 東北地方への援助と放射線の取組

**問** 東北震災地は、がれき処分受入れ地を求めているが受け入れの気持はなにか。

**町長** 我が町の復旧復興を優先に考えている。

**問** 津南町でもセシウムが検出された。大型獣にも汚染の可能性が大であるが対応は。

**町長** 県の測定器サーベイメーターを借用し、保育園・各学校施設等を測定している。

**問** 柏崎刈羽原発の災害時にそなえ津南町は避難や被曝の説明会を開くべきではないか。

**町長** 議員や窓口である町職員を対象にししながら説明会の開催や現場視察等を行いたい。

## 秋山郷地区と古民家保存の考え

**問** 秋山郷地区の自然活用は。

**町長** 観光振興の重点対策とし秋山郷を一つの観光エリアとして今後取り組む。



残したい古民家遺産

**問** 津南に点在する古民家保存の考えは。

**町長** 津南町の貴重な建造物であるが具体的な活用方法を定めていない。

# 平成24年度建築要望

## 産業建設 常任委員会

### 〔農林関係〕

**◆** 苗場山麓地区外の土地改良事業、中山間地域総合整備事業等にも早期完工に向け国県に対し強く要望されたい。

**町長** 津南地区県営中山間地域総合整備事業の予算確保、外丸地区県営経営体育成基盤整備事業の新規採択に向けて、最大限の努力をしております。24年度に向けて前向きな返事を新潟県からいただいている。

**◆** 町農業公社機能を強化し、開発農地の荒廃防止

のため農業者と連携を深め、農地の流動化に努められたい。小松原工区の保全と耕作支援を引き続き図られたい。

**町長** 来年度の国の「農地集積のための総合的な対策」においても、農地円滑化団体（津南町農業公社）が大きな役割を果たすことになっており、公社機能は、強化していかねばならない。

**◆** 農林産物の生産拡大と認証米制度の拡充を図り、流通販売対策とPR活動に積極的に取り組まれたい。

**町長** 農林産物の生産拡大のために、野菜の新規導入作物試験や各業者による統一シールの取組

を行ってきた。津南町認証米については、来年度2万5,000俵を目標に取り組みたい。米・野菜ともに津南町高品質の農産物であることをPRして参りたい。

**◆** 食糧・農業政策について、次の点を国に働きかけられたい。FTA・TPP協定を含む自由貿易協定に反対すること。

**町長** 交渉方針がないままで、TPP・FTA協定への参加の是非を検討するなど断固として反対する。



TPPの学習会

**〔商工観光関係〕**  
**◆** 不況の中において雇用の確保は緊急の要請となっているが、企業誘致に積極的に取り組まれたい。

**町長** 景気回復の先行きが見えない中で、雇用確保が難しいものがあるが、企業も様々な制度を活用して雇用確保に懸命に取り組んでいる。町内企業の中でも業績が回復基調の企業もあり、それらの企業にも積極的に雇用の確保を図るように働きかけた。産業の集中化を今後検討したい。

**◆** 小松原・苗場登山道の整備促進を図られたい。特に小松原の山小屋のトイレ設置に関し、十日町市と協議されたい。

**町長** 登山道整備については刈払い時に適宜補

修も行ってはいるが、大きな補修・整備については地元集落や山岳関係者とも協議しながら対応して参りたい。小松原の避難小屋のトイレについては、十日町市とも協議している。

**〔建設関係〕**  
**◆** 国道117号の整備促進に努められたい。

**町長** 灰雨バイパスは、県つとして要望している。しかしながら、大規模な改築事業としての新規採択は全県でもほとんどない状態であり、大倉バイパスに引き続いての事業化は、難しい状態。

## 平成23年12月定例会

# 傍聴者へのインタビュー

## Interview

石橋優美子さん（陣場下）

初めて傍聴した。質問する側も熱心で、町長もしっかり答えていた。意見がとびかうような、自由討論の時間があればいいと思った。

志賀 了子さん（船山）

傍聴は3、4回行っている。町長が的確に反応していた。一般質問は一人ひとりの時間が長かった。半日のうちにもう2人位聞ければ良かった。

渡邊 友司さん（反里口）

議会がどのような問題を取り上げているのかが興味があり、初めて傍聴した。教育問題の話が聞いて良かった。

清水 亀弥さん（田中）

今までの一般質問は、要望が主だったが、新人は提案が多かったように感ずることと、自ら率先して行動する姿勢が見られた。議会が明るく活発になったと思う。

◆国道405号津南駅・陣場下間の道路改良に努力されたい。

町長 405号津南駅〜陣場下間の道路改良歩道整備は、数多くの家屋移転が伴うことから地元との理解と合意を得ることが必要であり、地元調整をしていくことが重要と考える。

【町道関係】

◆道路財源確保に努め、町道（生活道路）の改良並びに舗装事業の推進に努力されたい。

町長 町道改良では生活道路の拡幅改良に多くの要望が寄せられているので、優先度の検討や財源確保を図り、計画的な実施ができるよう努力していく。

◆中深見・堂平線の全線整備促進を図られたい。

町長 中深見堂平線の広域農道規格での拡幅改良は、経費面から困難。道路用地のご理解がいただければ、整備計画を作成する。

【除雪関係】

◆除雪路線の延長について一層努力するとともに、生活道路確保のために消雪パイプの設置を図られたい。また、現行の工事費限度額の引き上げ等、負担の軽減を図られたい。なお、そのほかの町道（集落内）の電気料も助成対象とされたい。

町長 改良工事が完了した路線は除雪路線に組み込んでいく。冬期生活道路の交通確保は、機械除雪が基本。家屋密集地

総文福祉  
常任委員会

【総務課関係】

◆飯山線の存続・改善については、SLの引き込み等観光面も含めて引き続き関係市町村並びに関係団体と連携し運動されたい。駅前冬期駐車場の確保のため地元住民と協議の上、早急に消雪井戸を掘削されたい。また、駅周辺駐車場の有効活用を図られたい。

町長 飯山線の存続・改善については、SLの引き込み等観光面も含めて関係市町村、飯山線沿線地域活性化協議会と連携して引き続き努力していきたい。特に冬期間の通学車両の確保については、JRに要請している。ま



観光と通学で重要な津南駅

た、消雪井戸については、地元住民の意向を聞きながら検討したい。

【学校教育関係】

◆登下校時の安全確保のためのメール配信の活用と校舎の耐震対策を早急に進められたい。

町長 登下校の安全確保については、小学校では集団での登下校や地域の方による見守り、週1回町の広報無線による見守りの呼びかけ、定期的な防犯訓練などを実施し

では、消雪パイプ等融雪施設設置による交通確保に頼らざるを得ないが、多大な設置費及び維持管理費に苦慮している。新潟県では、管理する国道の新規消雪施設の設置は原則行わない方針。町道における集落管理融雪施設設置の補助限度額の増や電気料金助成は、現在の町財政において困難。見直しの検討は継続して行う。



灰雨スノーシェード

【克雪対策関係】

◆克雪住まいづくり支援事業を継続するよう県に強く要請し、国の制度化を働きかけられたい。

町長 県単事業は、平成23年度については継続となったが、今後も継続要望を行う。また、国での事業化を要望中。

【上下水道関係】

◆住民負担を考慮するなかで、つなぎ込みに対し努力されたい。

町長 下水道のつなぎ込みについては、啓発活動を進める一方、つなぎ込み促進に住宅改修補助や融資制度を活用していただきたい。

【環境衛生関係】

◆河川監視を継続し、生活水の汚濁防止に努力されたい。

町長 河川監視について船津川水系3カ所で行う5回の水質検査を行い、水質の監視を行うとともに、公衆衛生推進協議会より環境保全についてご協力いただいているところである。河川の水質状況は近年の下水道整備によって良好な数値となっているが、つなぎ込みの促進が河川環境の改善に大きく影響するものと考えているので一層の促進に努力したい。

【その他の要望事項】

◆買い物弱者対策を進められたい。

町長 移動販売が乏しい状況になった。有効に実施している所を研究し、実施の方向へアクションを起こしたい。

保険料については、引き下げの努力をしていただきたい。

【病院関係】

◆国民健康保険料については、生活習慣病の予防を強化することで、医療費の軽減に努め、健全財政を維持しながら、保険料の引上げは最小限度の範囲にとどめるよう努力したい。また、広域化については偏在する医療環境、低所得の被保険者、小規模保険者の財政リスク等の町の抱える構造的な課題への対応を見極めながら判断していくこととしたい。

【福祉保健関係】

◆国民健康保険料については、国庫負担の引き上げを国に求め、国保料引き上げにつながる広域化をやめさせるよう働きかけていただきたい。介護

介護保険料については、地域密着型サービス等の充実と共に引き上げは余儀なくされるのでご理解いただきたい。ただ、一方で寝たきりゼロ運動事業等の介護予防事業を取

り組む中で保険料への影響を減らすよう努めたい。

◆病院施設の充実を図られたい。

町長 施設の老朽化に伴い、受電盤、給水給湯関係、冷暖房ボイラー、トイレ関係の改修を行ってまいりました。今後も必要な施設整備を計画的に取り組んでいかなければなりませんのでご理解いただきたい。



施設の改善を

シリーズ・町民の声 **私も一言**



**四季を彩る津南の色に魅せられて**

大割野 風巻 宏さん

津南町の良さは町外、県外から観光で訪れるお客様によって再発見することが多くあります。私も津南町の観光ボランティアガイド「ふるさと案内人」として10年以上担当させていただいております。

当然知っていなければいけない町の情報をお客様から逆に教わることも多くあります。普段何気なく地元で生活して見聞きしていることが、訪れるお客様の言葉で、津南町の良さを再発見することがあります。

あるお客様に「津南町には何回も来ましたが、四季によって様々なカラーがありますね」と言われ、考えてみると春は新緑に染まる萌黄色の山々、夏には沖ノ原台地のひまわり畑で黄色に染まり、秋は特に秋山郷を中心とした紅葉に染まる赤となり、あたかも「信号機」のようです。冬は厳しいですが、町全体が真っ白な雪で羽織った河岸段丘の里となり絶景となります。ただ雪が降り積もる冬はネガティブになりがちですが、雪を味方につけポジティブな生活が大切ではないかと考えます。「一陽来復」のごとくやがて春が来れば雪解け水が豊富

で町に恵みを与えてくれます。

志久見川と中津川が合流する日本一の信濃川がありますが、津南町の名前の由来で津とは水辺や川辺に船や人が集まる所で、新潟県の最南端に位置しているため、津の南側にある町ということで津南町と名づけられたと聞いています。

今年は辰年なので、特に水の神といわれる龍神を敬い、水資源も有効に活用して欲しいと思います。津南町を訪れるお客様は豊富な雪解け水で作られた米、野菜、酒が大好きだそうです。これからも、自然から授かった恵みを大切にして頂けたらと願っております。私も津南町を訪れるお客様に対し、ふるさと案内人としてこれからも率先して津南町の自然遺産をPRしていきたいと思ひます。

又、ガイドや観光を担当する人だけでなく、町に暮らす皆様が一致協力して一人一人が営業マンの様に津南町をアピールして頂けたら大変ありがたいと思ひます。そうなれば今よりもっと津南町の位置づけが上がるのではないかと考えます。

**編集後記**

明けましておめでとうござ  
 います。

昨年は震災や水害があり大  
 変な年でありましたが、今年  
 の干支は辰年、強くてたくま  
 しく天にも昇る勢いで元気に  
 過ごしたいものです。

今回の「議会だより」から  
 委員が変わりました。紹介致  
 します。

- 委員長 栗原洋子
- 副委員長 滝澤茂光
- 委員は新人議員4名です。
- 桑原 悠 ● 石田タマエ
- 村山道明 ● 風巻光明

**議会だよりは私達が  
 担当します。**



風 どうぞよろしくお願ひします。

